

2020年7月13日

会社名 クミアイ化学工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 小池好智
(コード番号4996 東証第1部)
問合せ先 執行役員総務人事部長 吉村 巧
(TEL 03-3822-5036(代))

旧清水工場における土壌調査結果について

クミアイ化学工業株式会社(本社:東京都台東区、代表取締役社長:小池好智)は、旧清水工場(静岡県静岡市清水区渋川100)敷地内の建物解体工事に伴い、土壌調査を実施した結果、土壌汚染対策法に定められた基準を超える特定有害物質が検出されたことから、本日、静岡市に調査結果を報告いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 調査概要

- (1) 調査対象地 : クミアイ化学工業株式会社 旧清水工場敷地内
- (2) 調査対象面積 : 約14,000㎡
- (3) 調査期間 : 2020年2月10日 ~ 2020年6月22日
- (4) 調査項目、結果 : 26物質の調査を行い、4種の特定有害物質を検出(別紙参照)

なお、敷地境界井戸4か所の井戸水からは、有害物質は検出されておられません。

2. 特定有害物質検出の経緯

調査対象地は、1954年から農薬の製造を行う工場として稼働し、2006年に生産機能を休止するまで、原料として化学物質を使用していました。なお、同工場は2010年に廃止し、土壌汚染対策法第3条の但し書きの調査猶予区域となっていました。今般、敷地内の建物解体工事に伴い、土壌汚染対策法の土地の形質変更届出を静岡市に提出し、法令に基づく土壌汚染状況調査を実施しました。

3. 地下水利用状況の調査について

土壌汚染対策法に基づき、周辺地域(地下水下流側半径1,000m)において、地下水の飲用利用の状況について調査が行われます。その調査を受けた区域指定に基づき、今後適切な対応を行います。飲用利用調査の対象となる皆様におかれましては、ご協力のほどよろしく願いいたします。

以上

【別紙】

調査項目・物質

調査対象地で履歴調査の結果、汚染の恐れのあるとされた特定有害物質

第1種特定有害物質（揮発性有機化合物）	12物質
第2種特定有害物質（重金属等）	9物質
第3種特定有害物質（農薬類）	5物質

調査結果

物質名	調査名	調査結果 (最大値)	基準値
砒素及びその化合物	土壌溶出量調査 ¹⁾	18 mg/L	0.01mg/L以下
	土壌含有量調査 ²⁾	5500 mg/kg	150mg/kg以下
鉛及びその化合物	土壌含有量調査	260 mg/kg	150mg/kg以下
ベンゼン	土壌溶出量調査	0.014 mg/L	0.01mg/L以下
クロロエチレン	土壌溶出量調査	0.0074 mg/L	0.002mg/L以下

- 1) 土壌溶出量調査：土壌から溶け出し地下水に移行した有害物質を飲用摂取することによる健康影響を考慮するための試験
- 2) 土壌含有量調査：土壌を直接経口摂取することによる人の健康影響を考慮するための試験